

【報告-2】 阪神大震災追悼会場 清掃活動 1月18日 震災慰霊 竹灯籠・竹引き取り

1月17日に「阪神大震災追悼」が中央区 東遊園地で行われました。
翌18日午前「ケナフの会」では、会場清掃活動に参加し、震災慰霊に
使用された「竹灯籠」の一部を引き取りました。乾燥後「竹炭」材料と
して使います。

この活動に 7名が参加しました。
早朝の活動 ご苦労様でした。 有難うございました。
現地の様子を 写真で 報告します。 ご参照ください。



清掃前

竹灯籠



活動参加者:7名 有難うございました!



清掃後、竹灯籠がきれいに片付けられました。



引き取り竹の運搬車

清掃前の公園



っ



な



ぐ





主催者の挨拶

清掃後：竹灯籠がきれいに片付けられました。

阪神大震災追悼会場（東遊園地）の清掃後に、引き取り竹灯籠は、シルバーカレッジに運搬されました。シルバーカレッジでは竹の荷下ろし作業が行われました。それぞれの役目を果たして頂きました。有難うございました。今後は「竹割」「乾燥」そして「炭焼き」と続きます。皆様のご協力をお願い致します。

森山世話役コメント

慰霊の竹の貰い受け及び受け取りではお世話になりました。

竹の数が減った対策で

竹を短く切って作られた灯籠が大幅に増えていました。

加えて、両側を清掃車に挟まれ限られたスペースでの作業でした。

この中で炭に使える長い竹を選んで手際よく車に積んで頂き

有難うございました。

又、受け取りは少人数でしたが、チームワーク良く竹を下ろして

戴き有難うございました。

お陰様で順調に作業を終えることが出来ました。

古い竹が残っていて、割った竹の収納場所が小さくなっております。

このため今回の貰い受け・受け取り量は、例年の6～'割にしました。

収納場所の確保の相談をしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



東遊園地で 新発見！ : 清掃作業終了後に気付いたことを写真で報告致します。



東遊園地案内図: 1868年に外国人居留地の名称で開園した日本で最初の西洋式運動公園で開園当初は外国人専用であった。外国人が野球、ラグビー、サッカー、ボウリングなどのスポーツを行い、日本に広がった。1890年神戸倶楽部が建設され、外国人の社交場になった。



阪神大震災の記憶

Memory of Great Hanshin-Awaji Earthquake

平成7年1月17日 午前5時46分
5:46a.m. January 17, 1995

阪神淡路大震災により、このマリーナ像は倒れ、その際時計が壊れました。震災の記憶を永遠にとどめるために、この時計は、その時を示しています。



この雪地蔵は、神港学園硬式野球部の皆様が中心となり作成しました。
(雪提供 鳥取県江府町)

